

第三章 重要ナル戦闘

一、海軍運輸ノ保持ハ無形戦力發揮ノ第一要素ナリ。海軍ハ主權維持ノ爲諸島ヲ包圍セシメラレタルモ兵第三十九聯隊ヲ「メタマン」ニ派遣シ步兵第十聯隊「アバリ」ニ上陸運送レテ戦艦ニ加入スル等ニヨリ海軍ナル團結ノモト兵團ヲシテノ統合戦力發揮ハ著シク阻害セラレタリ

二、運搬セル状況判断ニヨリ海軍ノ運用ニ終始一貫セル主権性アルヲ要ス

海軍ハ台湾ニ進駐セシメラレ決死死守ノ決意ノ下ニ晝夜連續陣地ヲ構築セルモ十一月比島奪還ヲ命セラレ多数ノ機、彈、糧秣ヲ積置シ海軍隻ニヨリ比島ニ向ヒタリ然ルニ第一船「マニラ」上陸第二、第三船ハ北「サンフランシスコ」ニ第四船「アメリ」東方ニ上陸各上陸地艦ニ機、彈、糧秣貨物ノ大量ヲ積置シ「バレー」特因邊ニ戦艦スルニ至リ部隊物質戦力ハ漸次出動時ニ比セル最小限ニ縮小セラレ海軍ノ戦力ハ著シク弱体化セシメラレタル。海軍ノ運用ヲ遂行セル状況判断下主権的運用ニ運用スルト共ニ行動運用ニ方リテハ海軍移動ニ應スル物的戦力ノ移動ヲ状況ニ適合セシムルヲ要ス

第四章 海軍艦隊ノ概要

- 一、昭和十二年七月日支事變勃發ニ伴ヒ船員下令同年八月北支ニ出兵水定河、膠州、濟南、台兒莊（津浦線沿線）地帯ノ戦艦ニ参加昭和十一年八月復員下令同年十月迄ニ常駐艦隊ニ歸還ス
- 二、昭和十五年八月滿洲派遣三江省佳木斯ニ駐シ獨立艦隊トシテ三江省全境ニ亘ル國境守備治安維持及訓練ニ任ス
- 三、昭和十九年七月船員下令同年七月下旬乃至八月下旬ノ國境屯地ヲ設シ台湾ニ進駐第十方面軍司令官ノ指揮下ニ入ル
- 四、昭和十九年十一月十日比島派遣命令ヲ受領十二月中旬台湾進駐呂宋島ニ上陸步兵第三十九聯隊主力ヲ「メタマン」半島ニ派遣「マ」防衛司令官ノ指揮下ニ入ラシメ主力ハ第十方面軍司令官指揮下ニ北區呂宋「スエベビスカヤ」州「バレー」峠附近防衛ニ任ス
- 五、昭和二十年九月十日命令ニヨリ「ヨネス」ニ於テ米歩兵第三十七師

昭和二十一年十一月三日
東京府立総合資料館
アジア歴史資料センター
〒100-8302 東京都千代田区千代田1-10-1
電話 03-3588-3111